

Investors Guide

2025年3月期第1四半期決算

決算説明資料



新グループ長期経営方針
「& INNOVATION 2030」



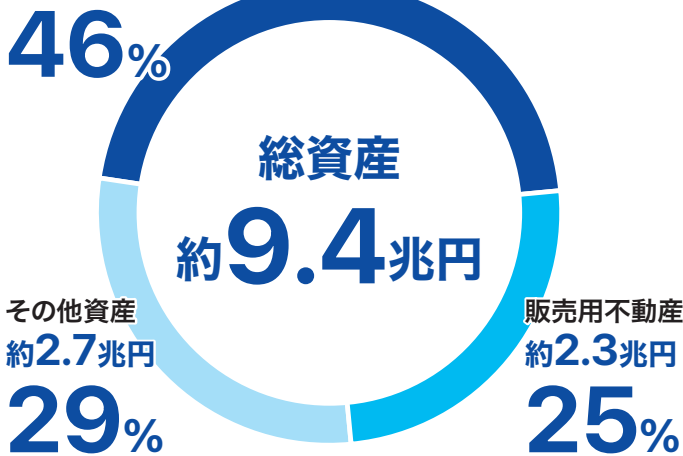
[より詳しい情報についてはこちら](#)

Business Overview

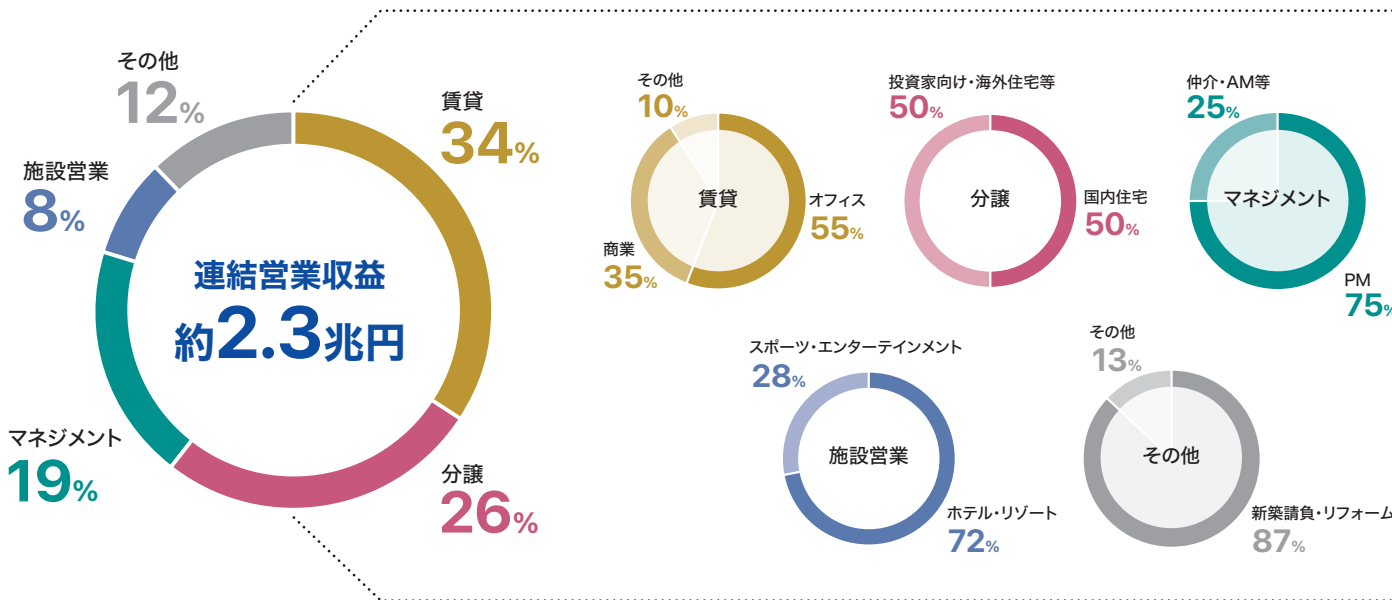
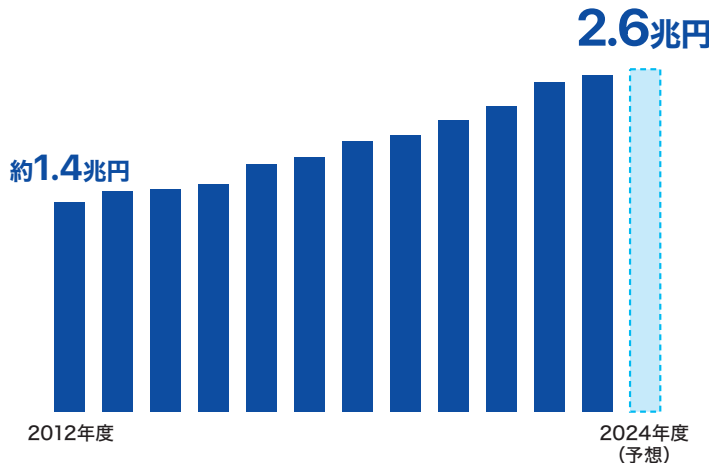
2024年3月期(2023年度)

有形・無形固定資産

約4.4兆円



営業収益



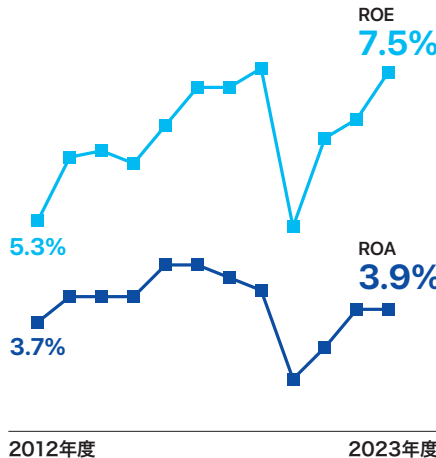
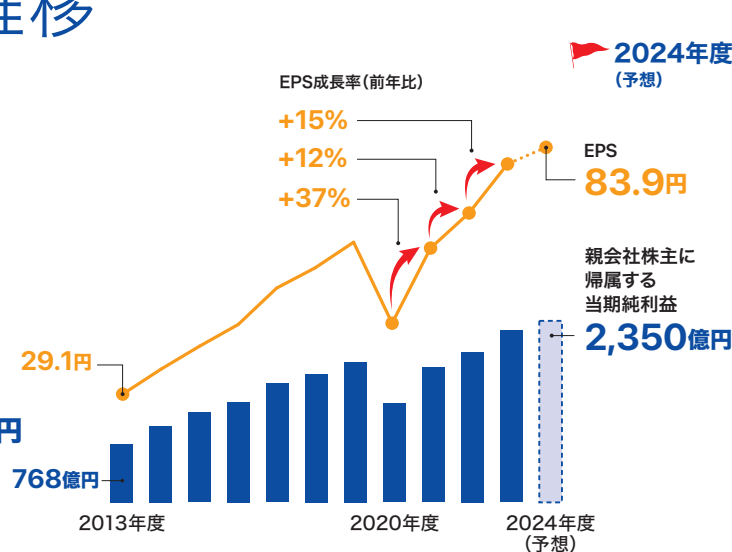
業績推移

2023年度

EPS
80.2円

親会社株主に
帰属する
当期純利益

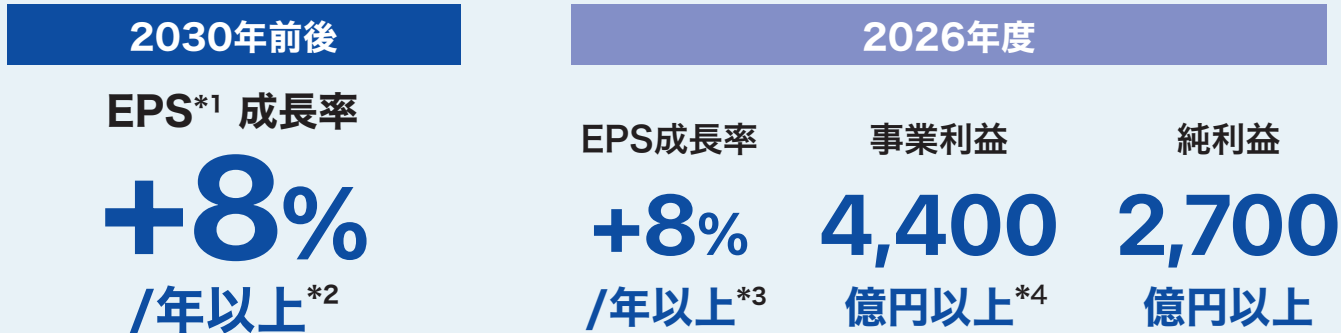
2,246億円



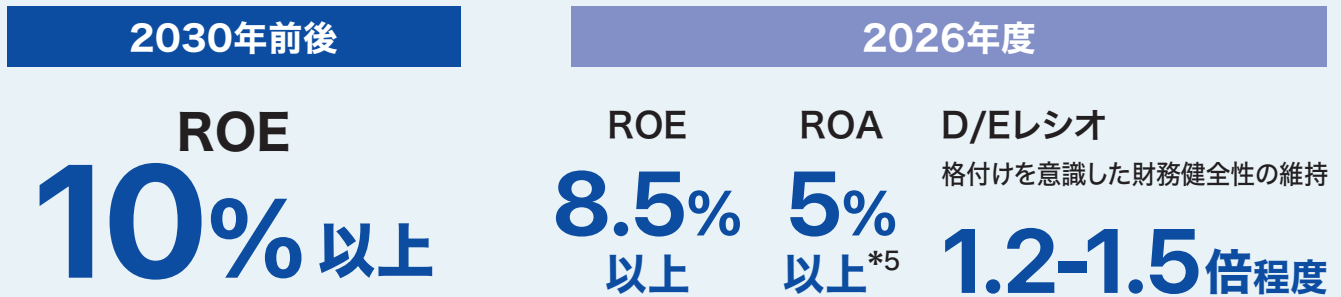
ROA = (営業利益+営業外収益) / 総資産期首期末平均残高
ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 自己資本期首期末平均残高

経営目標 & INNOVATION 2030

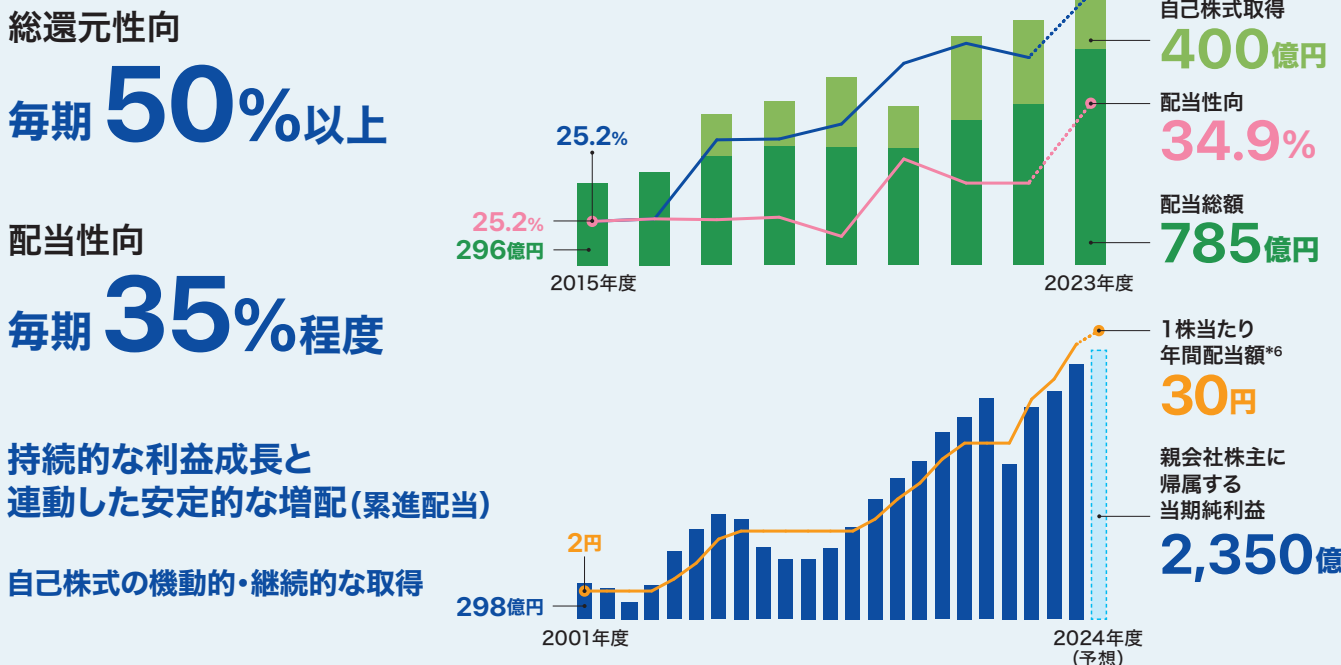
成長性目標



効率性目標



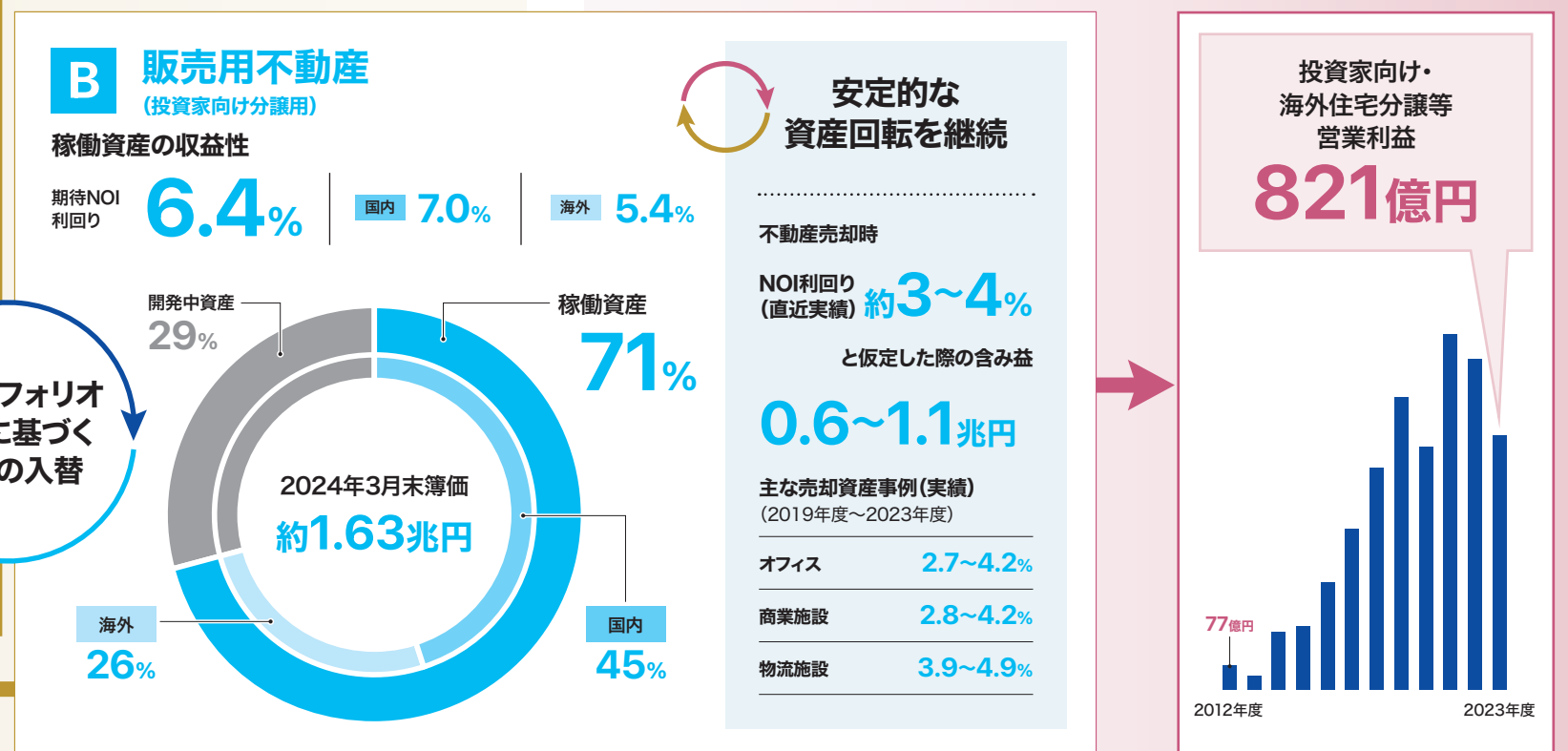
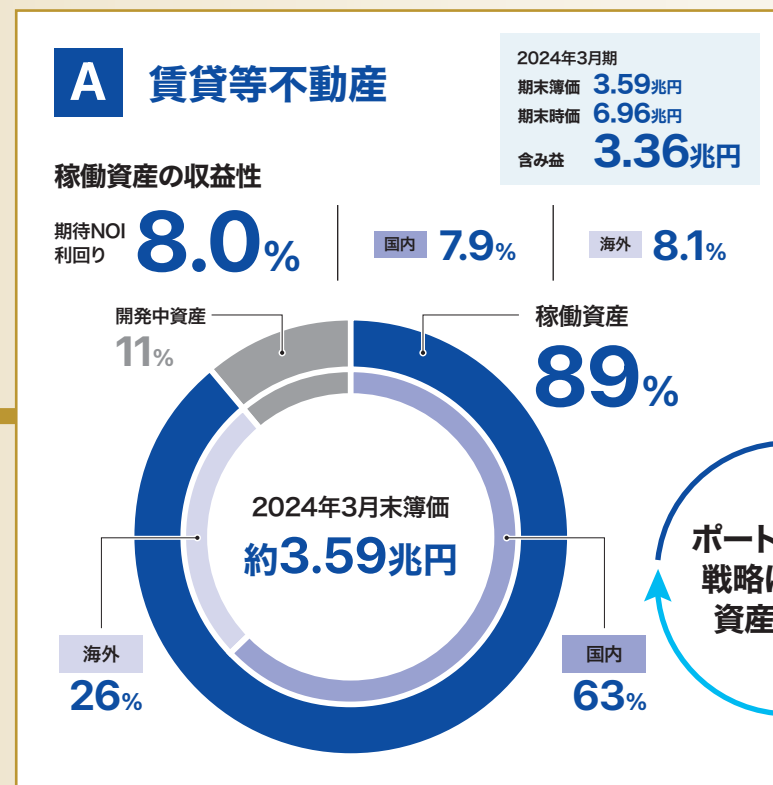
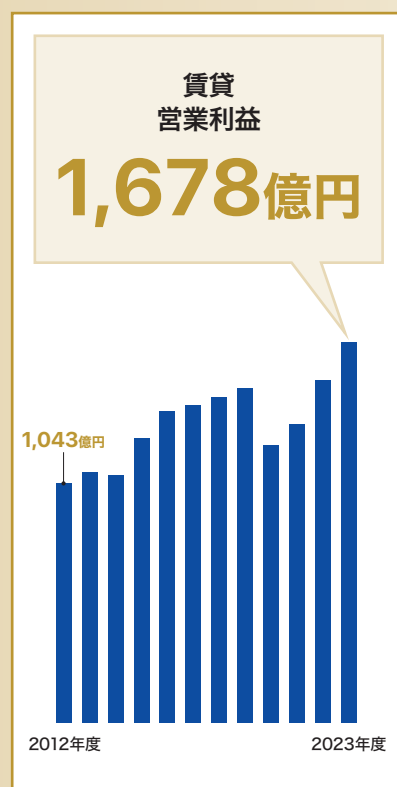
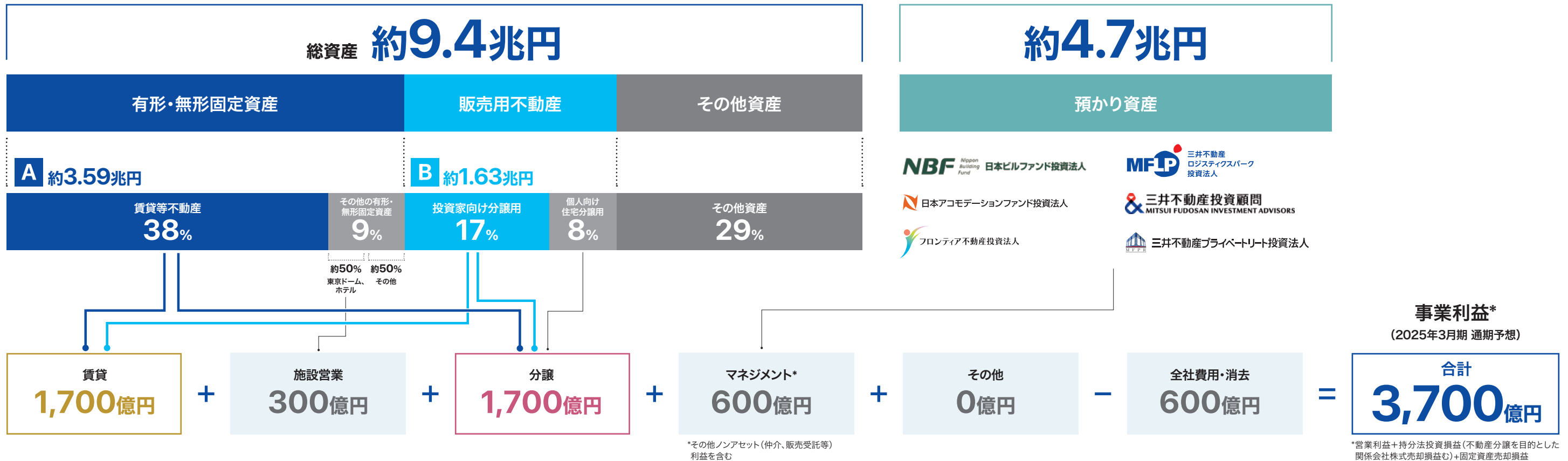
株主還元 (2024年度-2026年度)



*1: Earnings Per Share(1株あたり純利益) *2: 2023年度(2024/2/9時点予想)-2030年度(予想) 年平均成長率 *3: 2023年度(2024/2/9時点予想)-2026年度(予想) 年平均成長率
*4: 営業利益+持分法投資損益(不動産分譲を目的とした関係会社株式売却損益)+固定資産売却損益 *5: 事業利益/総資産期首期末平均
*6: 2024/4/1に株式分割(1株→3株)したため、2001年度-2023年度は分割後ベースに調整し、小数点以下を四捨五入

Source of Our Profit

(2023年度)



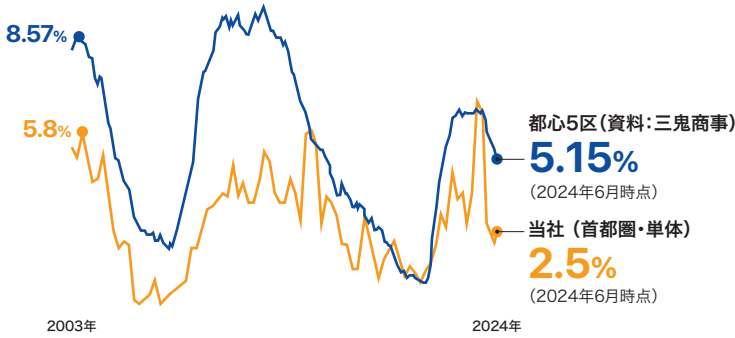
Market Potential

(記載のない限り、2024年3月末時点)

賃貸

オフィス

空室率の推移



WORK STYLING 法人向けシェアオフィス

会員数 約29万人 2018年4月比 約19倍 (2024年7月時点)

商業施設

国内施設数



総テナント数
約2,500社
(2024年4月1日時点)

総出店店舗数
約10,300店舗
(2024年4月1日時点)

全国主要SC売上高ランキング

上位10施設中
4施設が当社所有施設

2022年度: 全国主要SC売上高ランキング

2位	ラゾーナ川崎プラザ	857億円
4位	ららぽーとTOKYO-BAY	682億円
6位	三井アウトレットパーク 木更津	592億円
8位	三井アウトレットパーク ジャズドリーム長島	544億円

(資料:織研新聞)
*当社施設のみ抜粋

物流施設

国内外の開発・運営施設数



施設数 計76物件
累計総投資額 約1兆2,000億円以上
総延床面積 約600万m²

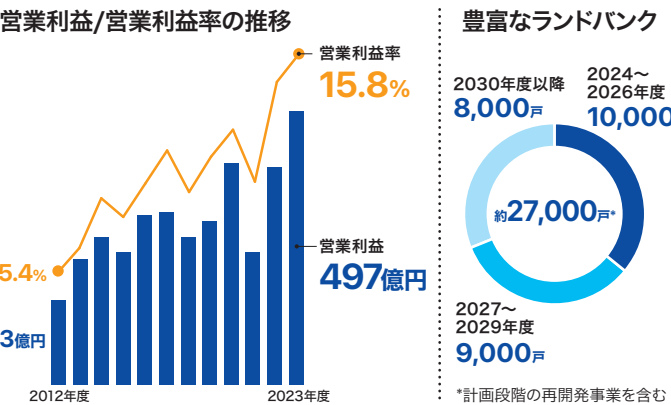
当社リーシング状況(首都圏) ほぼ満室稼働

マーケット空室率(首都圏) 9.7% (資料:CBRE)

国内住宅分譲

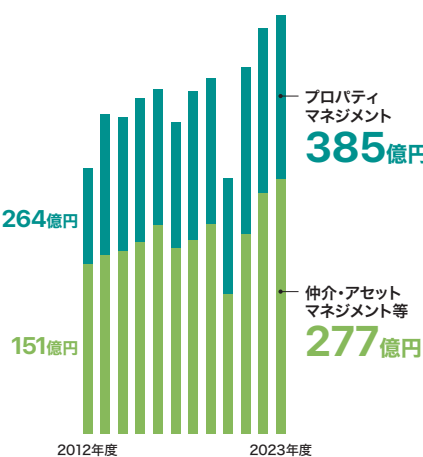
マンション契約計上戸数 3,650戸 契約進捗率 約92%

高額物件(2億円以上/戸)の市場シェア 当社グループ5割超
(資料:MERCURY FY2023)



マネジメント

営業利益推移



プロパティ マネジメント

貸し駐車場(リパーク)
管理台数 (2023年度) 約25万台



運営管理委託(オフィス・商業・住宅等)

マンション管理戸数
(2023年度) 約29万戸

賃貸住宅管理戸数
(2023年度) 約15万戸

仲介

個人向け仲介(リハウス)
仲介取扱件数
(2024年3月期) 約38,700件

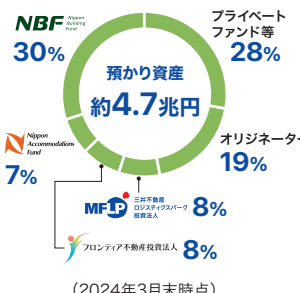
38年連続
No. 1
(1986年度から2023年度まで)



アセット マネジメント

三井不動産グループ
MITSUI FUDOSAN GROUP

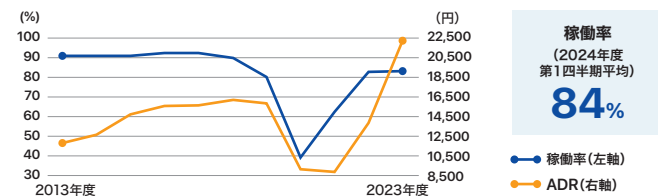
多様な投資家
への売却



施設営業

ホテル・リゾート

稼働率・ADRの推移 (宿泊主体型ホテル)



当社直営施設 (国内外含む)

53施設 約13,300室 (2024年7月末時点)

三井ガーデンホテル会員数 94万人超 (2024年6月末時点)

2018年度末の会員数の2倍以上



東京ドーム



4路線3駅と隣接、
高い交通利便性

東京駅	約6分
羽田空港	約45分
成田空港	約50分

東京ドームシティ来場者数(2019年度)

約4,000万人/年

東京都心に

約13haの広大な敷地

施設概要

多様な来街者のニーズを満たす豊富な施設



海外事業

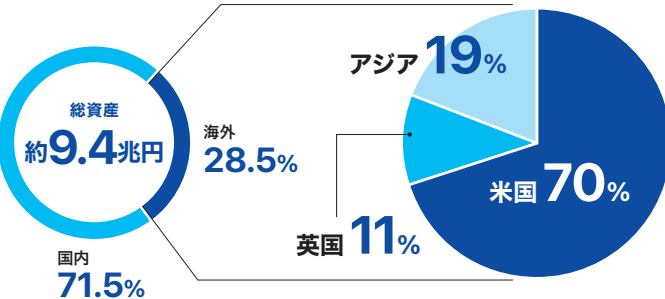
海外稼働プロジェクトの拡大

	2024年6月末時点 稼働物件数				今後の開発パイプライン*		
	欧米	アジア	総計		欧米	アジア	総計
オフィス	(16)	(1)	17		(+9)	(+2)	+11
商業	(-)	(8)	8		(-)	(+5)	+5
賃貸住宅	(14)	(-)	14		(+21)	(+1)	+22
ホテル・SA・物流	(2)	(9)	11		(+4)	(+5)	+9

*既存物件の次期計画・増床計画も
1プロジェクトとしてカウント

当社事業資産のエリア別内訳

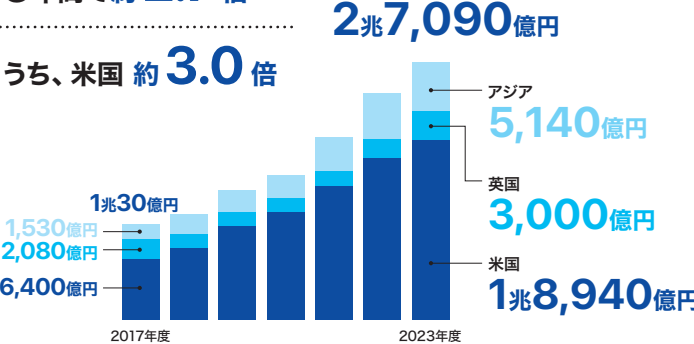
(2024年3月期)



海外資産残高の成長

6年間で約2.7倍

うち、米国 約3.0倍



施設営業

LaLa arena TOKYO-BAY 2024年4月竣工

スポーツ・エンターテインメントの力を活用した「感動」のある街づくりをさらに推進



バスケットボール試合開催時(イメージ)



音楽コンサート開催時(イメージ)